

議長報告 田中敏雄

◆佐藤副知事を表敬訪問◆

5月9日、議会から高安副議長・播磨産業経済常任委員長と、小田嶋・土谷両県議にも同行いただき、佐藤文一副知事の就任にあたり表敬訪問いたしました。



佐藤副知事を囲んで和やかに会談

副知事からは好感を持って応対いただきました。

めったにお話などする機会をつくれぬ我々にとって、幸先の良いスタートをつくれたように強く感じとりました。

短い時間でしたが、副知事から県経済の低迷の問題、厳しい現状での企業誘致活動のお話の中で、訪問する東京や名古屋の企業からは「佐藤」の呼び名でなく、いつ

からか「横手工業団地」というニツクネームになっていったんですと、我々には有難きエピソードなども披露され、献身努力の姿勢を伺うことができました。

県と我が市との緊密なコミュニケーションを大切にしている立場から、強力なご支援をお願いしたいところであります。

席上、副知事にも私ども議員の勉強会に講師としての招へいを申し上げましたところ、即刻ご快諾をいただきました。

◆副知事講師に勉強会開催◆

5月26日、「産業振興と企業誘致対策について」と題し議員勉強会の開催となりました。

副知事の講話は、「地元への熱意」と結ばれ有意義な研修でした。



市内のホテルで開催された勉強会

果樹振興議員連盟 研修会開かれる



熱心に行われた研修会

平成20年5月27日、参加者13名で大屋梅樹園地を視察し、大屋梅保存会の戸田義昭氏より「大屋梅の里復活構想」と題した講話をいただきました。その後、増田庁舎に移り、JAと市農政課から平成19年度の果実販売実績や平成20年度のりんごの結実調査などの報告を受けました。

果樹振興議員連盟は、横手市果樹振興のために必要な情報収集、調査、啓発、宣伝を行い、生産者が安心して生産に励めるように応援していく目的で結成されています。

これまで、りんご・さくらんぼ・ぶどうと産地の訪問を行い、今回は「梅」の産地の訪問であり、これで一通りの産地の訪問を行った事になります。

編集後記

全国植樹祭の前日に東北地方を襲った岩手・宮城内陸地震の規模はM(マグニチュード)7.2と推定され新潟県中越沖地震以来のM7を超える地震であった。当市の被害は少な

かったものの、山内小学校の体育館の天井ボード18枚が落下した。学童保育に来ていた子どもたちは体育館にいなかったため難を免れた。まさに「不幸中の幸い」であった。

もしこれが、普通の日に起きていたらと思うとぞっとした。中国の四川の8万6、000人を超す死者行方不明者を出した大地震から一カ月余り、国では、教育施設の耐震性の強化を図る補助金を打ち出した矢先の事であった。

今後市では、小中学校の耐震化へ万全に対応していく方向が示された。横手市の未来を担う子どもたちが、安心・安全に勉学に励める環境づくりをお願いしたい。

今回の地震から「日ごろの備え」こそ大事であることを学ばなければならない。行政・地域・家庭の地震対策へのエック体制は万全か。

(百谷正記)